

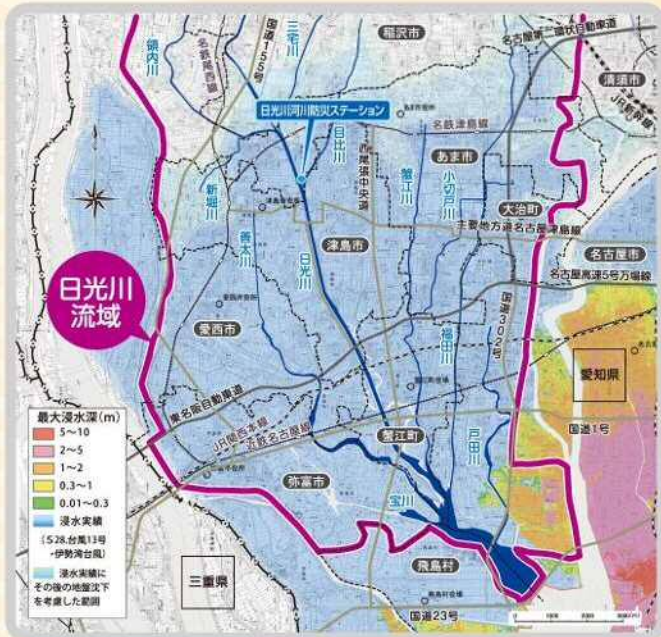
## 二級河川 日光川 下流域の概要

日光川下流域は、戦後における日本最大の高潮被害をもたらした伊勢湾台風を始め、これまでに多くの洪水・高潮による浸水被害に見舞われてきました。  
また、これまでの地盤沈下により、ゼロメートル地帯が拡大しています。そのため、当地域では河川改修や日光川右岸堤防道路の整備に加え、水害に対応するための防災施設の整備が求められてきました。

高潮浸水想定図

平成26年11月26日公表

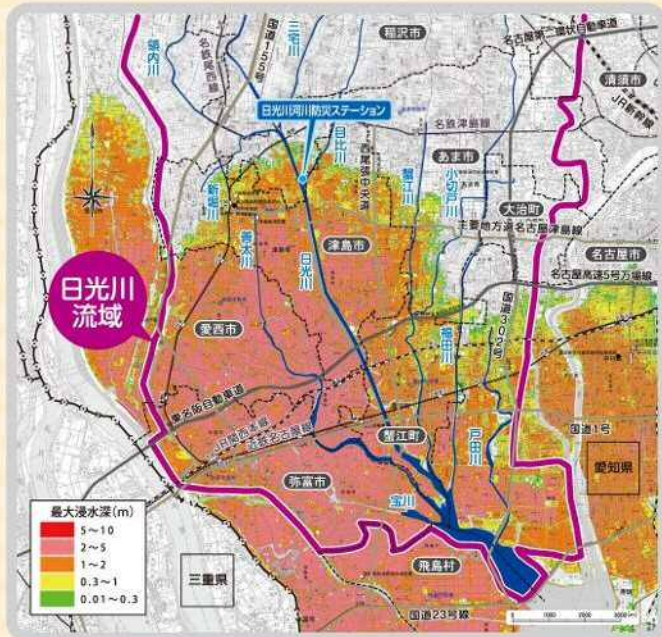
ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/0000077972.html>



津波浸水想定図

平成26年11月26日公表

ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/0000077984.html>



お問い合わせ先



海部建設事務所 河川整備課  
津島市西柳町1丁目14番地 TEL (0567)24-2084  
<http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-somu/ama-kensetsu/>



平成26年12月

もしもの時に  
備えて安心!水害対策  
愛知県管理河川で初の河川防災ステーションが完成しました。

# 日光川 河川防災ステーション



弥富市佐古木付近

昭和34年9月  
伊勢湾台風

昭和51年9月  
台風17号

平成12年9月  
東海豪雨



# 日光川河川防災ステーション

## もしもの時に備えて安心

河川防災ステーションは洪水時等における円滑かつ効果的な水防活動及び災害時の迅速で緊急的な復旧活動を行う拠点となる施設です。

### 資材備蓄ヤード

土砂など必要な資材を備蓄する屋外スペース

### ヘリポート

ヘリコプター離着陸場

### 水防センター

水防団待機場所、水防倉庫など水防活動に必要なとなる設備・機能を有する施設



### 駐車場

河川防災ステーションに集まる水防団員等の駐車スペース

### 車両転回所

トラックなどの大型車両が転回するスペース

敷地面積 約5500m<sup>2</sup>

基盤高 T.P.+3.00m(日光川計画堤防高)

### 日光川河川防災ステーションの経緯

平成21年度 / 起工式(平成21年11月30日)

平成22年度 / 基盤部設計

平成23年度 / 用地測量

平成24年度 / 用地取得・盛土造成工事

平成25年度 / 水防センター建築設計

平成26年度 / 舗装等表面整備工事、水防センター建築工事

平成26年12月20日 / 竣工式

### 位置図



### 日光川右岸堤防災道路事業の経緯

- 本工事着手 昭和62年度～
- 供用開始状況
- 名古屋十四山線(日光大橋)から0.2km下流(平成11年7月)
- 弥富名古屋線(観音寺橋)～ウォーターパーク入口 L=0.6km(平成15年6月)
- 西尾張中央道(新日光川橋)～名古屋十四山線(日光大橋) L=0.8km(平成12年8月)
- 名古屋津島線(日光橋)～東名阪自動車道 L=4.2km(平成21年12月)

### 日光川右岸堤防災道路

#### 水害時の緊急物資の輸送路を確保

この地域の幹線道路は、水害時に冠水する恐れがある道路が多く、住民の避難と緊急物資の輸送が困難となります。そのため、水害時には避難道路及び緊急物資輸送路として標高の高い道路が必要となります。

